

2011年（平成23年）8月1日（業務企画部発行）

株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)2432

URL: <http://www.nbr.co.jp/>

当社は、HS財団の動物実験第三者認証施設です

## ミニブタを用いたアレルギー性皮膚炎モデルの確立

今回、ミニブタに2,4-dinitrofluorobenzene (DNFB) を塗布することで皮膚炎を誘導し、皮膚炎症状の発現及びタクロリムス軟膏、吉草酸ベタメタゾン軟膏の皮膚炎に対する有効性を指標に、ミニブタを用いたアレルギー性皮膚炎モデルを確立しました。ヒトの皮膚に構造が似ているミニブタを用いることにより皮膚炎治療外用薬などの有効性と安全性などの評価が可能になります。

**動物種:** NIBS、雌、4カ月齢

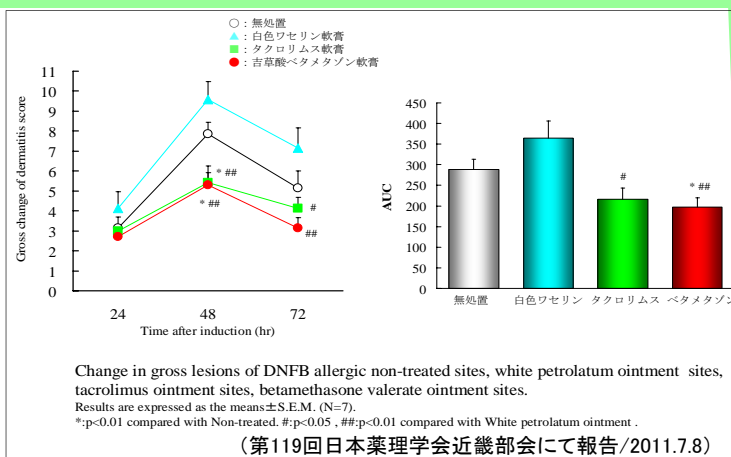
**感 作:** 両耳および両足の付け根に10v/v% DNFBを400  $\mu$  L塗布

**誘 発:** 感作14日後に1v/v%DNFBを40  $\mu$  L/site 塗布

**評価項目:** 皮膚炎スコア、病理組織学的検査

なお、これまでと同様に弊社では、マウスを用いた遅延型アレルギー試験やNCマウスを用いたアトピー性皮膚炎モデルの試験受託も行っております。

お気軽にお問い合わせください。



Change in gross lesions of DNFB allergic non-treated sites, white petrolatum ointment sites, tacrolimus ointment sites, betamethasone valerate ointment sites.

Results are expressed as the means  $\pm$  S.E.M. (N=7).

\*p<0.05, ##p<0.01 compared with White petrolatum ointment.

(第119回日本薬理学会近畿部会にて報告/2011.7.8)

### お知らせ

弊社ホームページをご覧ください! (vivoのバックナンバーは、ホームページにてご覧頂けます。URL: <http://www.nbr.co.jp/>)

2011年7月8日 第119回日本薬理学会近畿部会に於いて、4題の口頭発表を行いました。

【発表演題】 <http://www.nbr.co.jp/> (詳細は左記からご覧ください)

1. プレオマイシン誘発肺線維症モデルに対するゲフィチニブの影響 (川崎 由紀子)
2. ミニブタ、ラットおよびマウスにおける体組成の性差及び種差の検討 (松井ゆかり)
3. NIBS ミニブタを用いたDNFB誘発アレルギー性皮膚炎モデルの確立 (平澤康史)
4. 非アルコール性脂肪性肝炎マウスに対するARBの影響 (杉浦孝宏)

### 佐部利 典彦のアートギャラリー(47)

岐阜県出身(1969~)

タイトル: 天と地の狭間で

作者の言葉

この絵は私の好きなミケランジェロと、娘と散歩中に見つけた花壇の花の生命力にインスパイアさせて制作しました。何があって生きていく人間の普遍性を表現しようと考えました。

サイズ: SM  
技法: キャンバスにアクリル絵具



### 『心の絆 - その47』 - 』

お盆休みを含む夏季休暇のシーズンを迎えています。当社は新幹線岐阜羽島駅から約2kmの場所にあり、出張時にはこの岐阜羽島駅をよく利用しますが、この時期、駅の改札口やコンコース、そしてプラットホームでは「家族の絆」「親子の絆」「血縁の絆」から生まれる微笑ましい光景に何度も出会います。帰省する孫や子供を出迎える親の姿です。孫が改札口を出るや否や孫を抱きしめる笑顔、到着プラットホームまで行き、子供や孫を出迎えるご両親の笑顔は、私たち第三者が見ていても、強い家族愛を感じさせられる感動のシーンです。至福とはこのような笑顔を言うのではないのでしょうか。このような場面に多くの言葉は要りません。思わず、「ご家族で沢山のいい思い出の時間を過ごしてください！」と心の中でつぶやいている自分があります。そして夏休みが終わる頃、お孫さんが車内から涙を流しながら懸命に手を振り、別れを惜しんでいる光景には、ほろりとさせられます。親から子に、そして孫に、こうした出会いと別れを通してそれぞれの家族の想いや慣習が築かれ、継承されていきます。来年も、このような素晴らしい日本の夏が来ますように!